

第43回言語教授法・カリキュラム開発研究会 全体研究会 大学教育におけるアクティブラーニング

- ◆ 開催日時 2017年6月24日(土) 13時00分~14時50分
- ◆ 受付時間 12時30分
- ◆ 開催場所 研究会&懇親会：甲南大学 2号館 1階「グローバルゾーン・ポルト」
- ◆ 次第

13:00 開会の挨拶 国際言語文化センター教授 中村 耕二
13:05 基調講演 (司会：国際言語文化センター教授 藤原 三枝子)

「わかった」を引き出すアクティブラーニング

関西大学教育推進部 教授 森 朋子



講師プロフィール

【経歴】ケルン大学哲学部 Magister 課程修了後、大阪大学言語文化研究科言語文化学博士後期課程単位取得後退学。島根大学教育開発センター准教授などを経て現職。

【研究分野】学習研究・学習理論・教育方法学・学習心理学

【主な著書・論文】

- ★ “The Flipped Classroom: An Instructional Framework for Promotion of Active Learning”, Deep Active Learning, Springer, 2017(印刷中) (松下佳代編)
- ★ 『アクティブラーニング型授業としての反転授業 -理論編-』『アクティブラーニング型授業としての反転授業 -実践編-』, ナカニシヤ出版 2017.05, (溝上慎一と共編者)
- ★ 「アクティブラーニングを深める反転授業」『アクティブラーニングの技術・授業デザイン』, 東信堂 2016.03, pp.168-180(安永悟・関田一彦・水野正朗編)
- ★ 「初年次セミナー導入時の授業デザイン」『初年次教育の現状と未来』, 世界思想社 2013.01, pp.159-173 (初年次教育学会編)
- ★ 「質的データから見るアクティブラーニングの効果」『大学教育学会誌』, 第39号, 2017(印刷中) (単著)
- ★ 「反転授業における予習の仕方とアクティブラーニングの関連」『日本教育工学会誌』, 第40巻, 2016.09, pp.161-164(三保紀裕, 本田周二, 溝上慎一と共著) 他多数。

[14:10~14:20 休憩]

14:20 質疑応答
14:40 まとめと閉会の挨拶 国際言語文化センター講師 野村 幸宏
14:50 懇親会

※準備の都合がありますので、ご参加いただける場合は、電話又はファックス、e-mailで、6月16日(金)までに、お名前とご所属先を甲南大学国際言語文化センター事務室までご連絡ください。なお、参加費は無料です。

甲南大学 国際言語文化センター 電話 078-435-2326
(内線: 2430)
FAX 078-435-2545
(e-mail: gengo@adm.konan-u.ac.jp)